



和(輪)のまちだより

発行日	平成29年 1月 1日
編集・発行	第四地区住民自治協議会・総務部会
印刷	有限会社 長野プリントサービス

あけましておめでとうございます

第四地区 防災訓練実施（10月16日）



右の写真は消火器取扱い訓練の様子です。
赤いコーンめがけて水を噴射します。
消火器を取り扱うことができる人が増えれば、火事を初期消火で防ぐことができます。

AED も消火器も教わって扱ってみると、
難しくはないのです。ただどちらの機器も
訓練以外で実際に使ったことのある人は少
ないと思います。（少ない方がいいに決まっ
ていますが）



10月16日（日）にひまわり公園で第四地区
防災訓練が行われました。

AED の取扱い訓練、煙道体験、消火器取扱い
などの訓練を行い、災害用非常食の試食を行いま
した。96名の参加がありました。

左の写真は AED 取扱い訓練の様子です。
AED の設置場所は増えているのだそうです。
**AED を取り扱うことができる人が増えれば、よ
り多くの人命を救うことができます。**



いざ！という時に“まよいなく”そして“落ち着いて”使う
ことができるかと言われたら、自信のない方が多いのではない
でしょうか。そのためにも一年に一度の訓練で AED や消火器
に実際に触れて扱うことは、大切なのだと思います。

また、今回は初めての試みとして、災害用非常食の試食を行
いました。お湯を注ぐだけで簡単にできることと、その美味し
さに驚きました。皆さんからも「おいしい」と大変好評でした。

第四地区 いきいき交流会開催（10月19日）



10月19日に長野国際21で高齢者の方を対象とした第四地区いきいき交流会が行われました。今年は山村（シャンソン）歌手の神谷あり子さんの演奏会を行いました。

神谷さんの歌声に合わせて体を動かしたり、神谷さんの演奏で歌を楽しみました。歌集から会場のリクエスト曲も応えていただきました。

歌った曲は・・・

- ・青い山脈 からスタートして
- ・あざみの歌
- ・琵琶湖周航の歌
- ・旅の夜風（愛染かつらのテーマ）
- ・高原列車は行く
- ・見上げてごらん夜の星を
- ・瀬戸の花嫁 など

懐かしい曲が多かったようで、皆さん声を出して歌を楽しんでいました。



新県立大学 学長候補 金田一先生を囲む会

平成30年度に長野県立大学（仮称）が開学し、旧後町小跡地には学生寮が建設されます。9月14日（水）にもんぜんぷら座801会議室において、長野県立大学 学長予定者である金田一先生と地域住民との懇談会を開催しました。金田一先生の新県立大学への想い、教育への考え方などをお聞きすることができ、貴重な時間となりました。



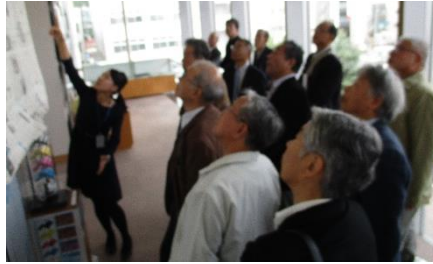
今回のように学校と地域が率直に話し合うなかで、学校と地域が相互理解を深め、協力関係を築いていけるようになるとういなあと感じます。

写真左：会場からの質問に答える時は、自然と質問者の近くまで歩いてこられる様子に、金田一先生の優しいお人柄がにじみ出ているように感じました。

若穂地区との地域間交流事業

長野市では、中山間地域を有する住民自治協議会と有しない住民自治協議会との交流促進しています。今年度、第四地区住民自治協議会では若穂地区と交流を行いました。

✧若穂地区の方をお招きしました



10月25日（火）に若穂地区の方をお招きして、信濃毎日新聞社様の見学と長野ホテル犀北館様が所蔵している美術品の数々を学芸員の方と鑑賞しました。

✧若穂地区を訪問しました



11月15日（火）に若穂地区を訪問しました。清水寺は天平14(742)年発祥の由緒あるお寺です。春のボタンと秋の紅葉（もみじ）が有名です。



紅葉は、ちょうど見頃を迎えており、見事な光景でした。まるで紅葉のトンネルです。石段を登った先に観音堂（写真左）があります。観音堂には重要文化財である、千手観音菩薩、多聞天、広目天などが保存されています。観音堂の中で宮澤住職の楽しいお話をお聞きました。



その後、保科温泉に移動して昼食、入浴、交流会。



若穂地区の紹介ビデオなどを見ました。若穂地区には、無形文化財に指定されている祭事などの伝統行事が数多くあることに大変驚きました。若穂で獲れたりんごもいただき、楽しいひと時を過ごしました。若穂地区の皆様本当にありがとうございました。

長野市消防局の救命講習を受講（安全部会）

安全部会のメンバーと事務局の総勢9名で長野市消防局の救命講習を受講しました。講義を聞いた後は実技試験と筆記試験があります。写真は実技試験の様子です。試験官（消防局の職員）が側で見ており、また受講生全員が見守る中での実技試験は真剣そのもの。大変緊張します。全員無事に合格し「普通救命講習修了証」を発行してもらいました。

非常に勉強になりました。講習は各地の消防署でも行われています。興味のある方は、いざという時に慌てないためにも、受講してみてもいいのではないでしょうか。



近くの人に助けを求めて、119 番通報を依頼したり AED を持ってくるようにと指示を出しています。



AED が届くまで、もしくは救急車が到着するまで、ひたすら胸骨圧迫。目安は体が5cm 沈むくらいの力で。結構大変です。



AED から流れる音声指示に従って、電極パットを身体に装着します。



電気ショックをかける直前、周りの人に「離れるように」と指示を出します。



心臓発作は予兆なく突然起こります。心臓が完全に止まる前にわずかに痙攣したようになることがあります。「心臓が震えている＝心室細動」の状態、そのままでは心停止して死に至ります。AED は電気ショックを与えて、心室細動を取り除き、心臓の動きを正常に戻す器械です。**心臓発作から命を救うには、早いタイミングで AED を使えるかどうかにかかっているのです。**

- 目の前の人 が倒れたら、すぐに 119 番と AED
- AED は誰にでも使えます。
- AED は電源を入れれば、音声 が流れて使い方を教えてくれます。
- AED は必要がなければ電気ショックは与えません。AED 本体が判断してくれます。

第四地区 役員研修 ～大学生とのまちづくり～

平成 30 年度に長野県立大学（仮称）が開学し、旧後町小跡地には学生寮が建設されます。第四地区内に大学生が約 300 名暮らすことになるのです。

そこで全国初の条例を制定し、「学生と市民、学生とまち」との関わりを深めることで中心市街地に「にぎわいと活力」を取り戻すことを推進している金沢市に研修にいつてきました。



写真左
学生と市民の
交流拠点。
金沢市指定保存
建造物である
古民家を改修
した
「金沢学生の
まち市民交流館」

こうした活動を通じて、学生と地域の交流機会は拡大しているそうです。また大学生の金沢への愛着も高まっており、県外入学者で卒業後金沢市に残る人は4割。金沢市の人口は微増状態だそうです。大変うらやましく感じる状況です。

第四地区でも学生との交流や関係を深めることで活力を創出できるようにしたいですね。それには、住民側の受容意識や商店街の方の協力なども大切な要素と感じました。



金沢市には大学などの高等教育機関が 18 校、専門学校が 28 校もあり学生数が全国 7 位という学生のまちですが、平成以降は大学の郊外移転が相次ぎ、学生が中心市街地からいなくなってしまったのだそうです。

そこで条例を制定し、その中で「金沢まちづくり学生会議」を発足。「金沢まちづくり学生会議」の活動として、学生と商店街が連携して様々なイベントを企画・運営しています。今年度は第 7 期生。9 大学から 54 名が参加し活動しています。大学が学校として関与しているのではなく、学生が自主的に参加しているそうです。そして下級生に引き継いでいくという形ができあがっているようです。



平成 28 年秋の叙勲 ～第四地区内で 2 名受章～

政府が発表した平成 28 年秋の叙勲で、第四地区内 妻科から 2 名の方が受章されました。

瑞宝章 小沼義治さん（妻科） 旭日章 吉田総一郎さん（妻科）

瑞宝章は長年公務などに力を尽くされた方に、旭日章はそれぞれの分野で顕著な功績を挙げられた方に贈られるものです。

第四地区の各町から（南県町）

✧南県町 ほのぼの交流会

10月13日（木）に南県町の自治会・公民館・婦人部などの合同行事として、ほのぼの交流会が行われました。

ほのぼの交流会は今回初めて行われたイベントで、南県町に隣接している特別養護老人ホーム「プリマベール」の入居者の方と南県町の住民の方との交流の機会を



として開催されました。

一緒にお茶やお菓子を食べながら歓談したり、音楽に合わせて体操したり合唱したりしました。

終わりに南県町の役員の方が「楽しかった人」と声をかけると、全員が手を挙げていました。

広告欄

広告欄

広告欄

広告欄